

科目名	現代経済入門	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			経済学科	■必修 □選択	
			学科	□必修 □選択	
英文表記	Introductory of Modern Economy	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年		
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中		
ふりがな	のぐち ひでゆき	実務家教員担当科目		修得単位	2単位
担当者名	野口 秀行	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	日本経済の特徴とその問題点を、世界経済と関連付けて学習する。				
到達目標	各受講者には日本経済の全体像と、個別専門領域に取り組むための基礎事項を修得して欲しい。				
授業概要	戦後の日本経済の変遷を学びつつ、第4次産業に向けた経済システムの大変革を学びます。				
授業計画					
第1回	戦後の世界経済のシステムと日本の戦後復興				
第2回	日本経済の成長の軌跡とバブル経済				
第3回	バブル経済の崩壊と産業構造改革				
第4回	日本経済が抱える課題				
第5回	リーマンショックと世界経済の低迷				
第6回	世界経済のグローバル化、IT化、ディレギュレーション				
第7回	世界経済の構造変革				
第8回	中国経済の台頭と挫折				
第9回	米中デカップリングとトウキディデスの罠				
第10回	米国の長期金利の動向と世界経済の行方				
第11回	歴史的転換期を迎えるEU:英国のEU離脱、コロナウイルス、移民問題				
第12回	GAFAMと日本経済の複雑性				
第13回	デジタルトランスフォーメーションとサステナブルトランスフォーメーション				
第14回	ポストコロナとグリーンリカバリー① SDGs と ESG				
第15回	ポストコロナとグリーンリカバリー② ドーナツ経済学とサーキュラーエコノミー				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	予習復習の徹底、事前配布のプリントに目を通しておくこと				
履修条件 受講のルール	なし。				
テキスト	プリント配布				
参考文献・資料	追って連絡します				
成績評価の方法	期中のレポートおよび期末試験の結果を総合して判断します。 出席回数が規定に満たなかった場合、その他納入金未納の場合は試験を受けることができません。				
オフィスアワー	火曜日午後及び水曜日全日				
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)				

学生への
メッセージ

日本経済についての好奇心を喚起し、さらに詳しく学びたいような授業としたい。